

広報 北馬城まちづくり

まちづくり 皆でめざそう輝く 北馬城

第6号 平成28年7月
発行：北馬城地区まちづくり
協議会事務局

宇佐クロダマル物語 第1回クロダマル播種体験を実施しました

平成28年7月3（日）橋津よりもの郷圃場において、「北馬城地区まちづくり協議会」が共催するクロダマル物語を開催しました。当日は天候に恵まれ、宇佐市外、県外からの参加者が多く、家族連れで食育やリクレーションを目的に参加されていました。

実行委員長、まちづくり協議会会長の挨拶の後、圃場に行き、機械で撒くのではなく、尺棒と穴あけ棒を使って穴を開け、1粒1粒を丁寧に植えるという作業（播種体験）をしました。この体験は昔の人の苦労と協同で行う作業においてコミュニケーションを育む重要な体験となっていました。そのあと、現在の機械での播種作業に移り、子供たちにはエアコンの入ったトラクターに乗用しての体験もあり、昔と現在の両方の作業を体験でき、大いに感動したようでした。

種まきが終わった後は橋津公民館において「クロダマル」の特徴と素晴らしさについて営農組合総務担当の仲延旨氏より講演がありました。クロダマルは粒も大きく、艶もいい、味もいいと丹波の黒豆と比較して引けを取らない素晴らしい黒豆であることが紹介されました。さらに地区の婦人部より団子汁とおにぎり、ぬか漬の差し入れがありました。作業が終わったの満足感とこれからクロダマルにかける期待とでより一層おいしくいただきました。クロダマルがんばれ！！

今後の予定（クロダマル物語の続編）は

第2回 クロダマル枝豆収穫体験（よりもの郷圃場） 日時：10月23日（日）

第3回 クロダマル大豆収穫体験（よりもの郷圃場） 日時：12月11日（日）

第4回 クロダマル豆腐づくり体験と販売体験

（身深食品有限会社、よろうや） 日時：1月29日（日）

となっています。宇佐市は全国1位の生産を目指して活動中です。多くの方の参加をお待ちしています。

出席者全景 クロダマルを植付ける子ども達 全員でだんご汁いただきま〜す 講演の様子



これからの主な事業計画のお知らせと協力依頼

1. 招魂場草刈り支援——招魂場は毎年戦没者遺族会の皆さんにより草刈り管理されてきました。が、高齢化に伴い、人数が減って負担が大きくなっています。8月7日（日）7時～戦没者追悼の意を理解頂き、多くのご参加をお願いします。刈払機、鎌、松葉掻き、水、タオルなど持参ください。
2. 校区盆踊り大会協賛——8/21、19時～。北馬城小学校で行われます校区盆踊りを支援して抽選会を開催します。玉ねぎ100ネットを用意しています。北馬城地区住民が一堂に会する唯一の機会です。多くの方の参加を期待してま〜す。
3. 子供等に盆踊り、口説きの練習——地区ごとに実施する。
4. 空き家のデータマップ作製——区長により調査中（そのまま入居できる空き家、手直しが必要な空き家）。
5. 各地区の既存の行事支援——裏面の計画表N o 23を参照。

4月14日、16日に熊本・大分地方に発生した地震災害に対し、北馬城まちづくり協議会は、5月22（日）JR宇佐駅構内に熊本・大分の復興を願って、横断幕と絵馬、募金箱を設置した。これは主に、岩根副会長が企画・立案し、北馬城小学校72名の児童が横断幕にメッセージを記入した。

セレモニーは岩根副会長の司会で進行し、北小の高橋佳子児童会長が復興支援のメッセージを送り、目録を宇佐駅長に手渡した。その後駅前で絵馬や横断幕の除幕式を行い、児童や参加した大人が絵馬に書き込みを行った。また、北馬城郵便局長の渡部氏が参加者一人ひとりに義援金をお願いした。募金箱、絵馬は駅の利用客に募金や寄せ書きをして貰うため、改札口付近に設置した。

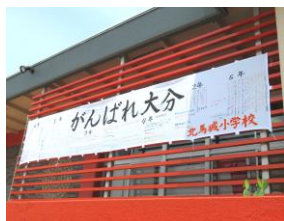
寄せ書きをする北小児童



メッセージを送る高橋さん



目録を駅長に手渡す



北小72名の寄せ書き



メッセージを書き込む児童



募金をお願いする渡部郵便局長

☆JR宇佐駅改札口に設置していた絵馬は、書き込みが一杯になったので、6月20日（月）撤去し、岩崎神社に奉納し復興祈願した。また、駅長に管理をお願いしていた募金箱も27,302円集り、市を通して被災地に送った。



岩崎神社に奉納した絵馬

熊本・大分地震復興セレモニーについては、北小の児童の皆さんにご協力頂き、大変有難うございました。また、絵馬や募金箱を管理して下さいましたJR社員の皆さんにも、ご迷惑をお掛けしました。厚くお礼申し上げます。

宇佐市ふるさと納税（寄附金）のお願いについて

1、ふるさと納税制度とは

自分の生まれ故郷は勿論、お世話になった地域やこれから応援したい地域の力になりたいと言う思いを実現し、「自分の意思で応援したい自治体を選ぶことが出来る制度」として、総務省が創設しました。自分の生まれ故郷に限らず、どの自治体でもふるさと納税を行うことができます。

2、税制上の優遇措置を受けることができます。

寄附していただいた金額から、2,000円を差引いた金額が、税額控除（所得税・住民税）されます。

例えば、10,000円寄附した場合　：　10,000円－2,000円＝8,000円(税額控除)
30,000円寄附した場合　：　30,000円－2,000円＝28,000円(税額控除)

3、ふるさと納税額（寄附金）に応じて、好きな「ふるさと宇佐特産品」が貰えます。

- (1) 寄附金額10,000円以上・・・【A】から特産品1品贈呈（3,000円相当）
- (2) 寄附金額30,000円以上・・・【A】から特産品2品贈呈（6,000円相当）
又は【B】から特産品1品贈呈（6,000円相当）

※なお、ふるさと納税を郵便局で振り込むと、数日から数週間後に宇佐市から「ふるさと宇佐特産品リスト」をお届けし、ご希望の品を選んでいただき送付します。

4、税制上の優遇措置を受ける手続き

税金の控除を受けるためには、原則寄附していただいた年の翌年3月15日までに、宇佐市が発行する領収書を添付し、居住地の管轄の税務署で「確定申告」もしくはお住まいの市町村で「住民税申告」をしていただく必要があります。

5、ふるさと納税（寄附金）のお申込方

インターネットでも申し込めますが、「北馬城地区まちづくり協議会」では、寄附金をご依頼される方には、あらかじめパンフレットと振込取扱票を送付します。依頼者は振込取扱票に住所、お名前、金額等をご記入の上、郵便局で振り込んで下さい。この時必ず寄附金のご希望の使用用途欄に④に印を付けて【 】に北馬城と記入して下さい。

平成28年度まちづくり協議会当面の事業実施計画について

平成 28 年 7 月・8 月の主な事業計画の予定は以下の通りです。

項目\月	7 月	8 月	備 考
農業法人と協力して、イベントを推進し、黒ダマル6次産業を体験	7/3 黒ダマル播種体験		地域振興部会
空き家のデーターマップの作成	各地区の空き家調査	各地区の空き家調査	地域振興部会
子供等に盆踊り、口説きの練習	7月の後半	8月の前半	地域振興部会
北馬城地区観光・史跡冊子作成	調査・協議	調査・協議	地域振興部会
観光資源の案内版設置	調査	調査	地域振興部会
校区盆踊り大会を協賛支援		8/21 北馬城小学校	交流部会
各地区既存の行事支援	6/24 役員 会議で決定	6/24 役員 会議で決定	交流部会